

# 国際理解教育が「総合的な学習の時間」の担い手として

北海道国際理解教育研究協議会

会 長 高 橋 承 造

(札幌市立苗穂小学校長)

先日、2002年から完全実施となる新指導要領への移行措置が文部省から告示されました。それによると、新設されることになった「総合的な学習の時間」が、いよいよ各学校の判断で来年度から実践できるようになります。

「総合的な学習の時間」では、地域や学校、児童・生徒の実態に合わせ、体験学習などの児童・生徒の興味や関心などに基づいた教育活動を行い、一つの教科の枠にとどまらない横断的・総合的な学習が期待されています。そして、この「総合的な学習」での具体的な学習内容として、国際理解、情報、環境、福祉、健康等の子どもたちの興味や関心に基づく課題や、地域・学校の特色に応じたものとなっています。すなわち「総合的な学習」では、これからますます激しく変化する21世紀の社会を、『環境（地球）や人に優しく、人間らしく豊かに生きていくことのできる力』を、子どもたちに育てていくことが強く望まれているのではないかとと思われるのです。

そこで、それぞれの学校で実践されることとなる総合的な学習の時間で扱うであろう内容が、国際理解の分野であればもちろんのこと、情報・環境・福祉・健康や地域・学校の特色などを生かしたものであったとしても、「自ら社会的な課題を見出し、解決方法を模索し、未来への展望を持つ」「自国文化と異文化の理解から、自己を確立し共に生きる主体性の確立」「地球に生きる者同士の運命共同体としての自覚」など、国際理解教育のねらいとされている要素が必ず含まれているのではないのでしょうか。

私たちは昨年度の第19回全道大会後志大会から、「総合的な学習の時間」を視野に入れた実践研究を進めてきました。私たちの研究の成果が「総合的な学習の時間」の実践へ向け、中心的な担い手としての役割を果たすことを確信しております。

9月17日と18日に北見市にて開催されます全道研究大会は、網走国際理解教育研究会のみなさまのご努力と関係機関のご支援により、準備は着々と進んでおります。

本協議会全道17地区のみなさまのご支援とご協力をいただき、第20回北海道国際理解教育研究大会北見大会を大成功に導くとともに、北海道の国際理解教育が益々広がりをもち確かなものへ成長していきますよう、微力ではございますが全力を尽くしてまいりたいと存じます。

## 【 役 員 名 簿 】

顧問	中山 素水 (道工業大学教授)	副会長	森田 紀宏 (恵庭市立恵み野旭小学校校長)
"	本田 哲也 (初代会長)	"	橋本フミエ (札幌市立福移小中学校 校長)
"	木皿 弘勝 (第2代会長)		
"	千葉 福男 (第3代会長)	監事	小川 雅美 (旭川市立聖園中学校 校長)
"	磯貝 登 (第4代会長)	"	桑谷 昌芳 (帯広市立啓北小学校 校長)
"	大泉 弘 (第5代会長)		
"	石田 省子 (第6代会長)	理事	舟崎 征二 (月形町立中和小学校 校長)
"	山内 武道 (第7代会長)	"	田口 公紀 (長万部町立国縫小学校 校長)
		"	豊田 収 (大成町立大成小学校 校長)
会長	高橋 承造 (札幌市立苗穂小学校 校長)	"	笹川 幸一 (平取町立平取中学校 校長)
		"	小笠原 雅 (函館市立桐花中学校 校長)
副会長	関 全 (北見市光西中学校 校長)	"	斉藤 哲 (羽幌町市幌北小学校 校長)
"	木下 昌司 (室蘭市武揚小学校 校長)	"	稲崎 進 (浜頓別町立浜頓別小学校 校長)
"	須貝 亨 (留寿都村立留寿都中学校 校長)	"	鈴木 久司 (小樽市立銭箱小学校 校長)
"	樋原 永幸 (釧路市立新川小学校 校長)	"	青山 信一 (別海町立別海中学校 校長)

## 【 事 務 局 】

事務局長	真木 孝輝 (札幌市立真栄小学校 教頭)	広報部長	廣島 直 (札幌市立みどり小学校)
次長	後藤 宏 (札幌市立真駒内南小学校 教頭)	" 副部長	石塚 信彦 (岩見沢市立幌向小学校)
"	渡辺 常彦 (余市町立東中学校 教頭)	組織部長	中村 一治 (厚田村立聚富小中学校)
"	桜田 和雄 (道研国際理解教育研究室長)	" 副部長	橋本 直樹 (岩内町立岩内第一中学校)
"	佐藤 稜子 (三笠市立三笠中学校 教諭)	庶務部長	斉藤 吉文 (札幌市立みどり小学校)
参 与	一関 庶路 (札幌市立大谷地小学校 校長)	" 副部長	岡本 清豪 (小樽市立長橋中学校)
研究部長	中村 淳 (札幌市立月寒小学校)	会計部長	澤田 崇 (札幌市立篠路小学校)
" 副部長	広瀬 保志 (札幌市立三角山小学校)	" 副部長	藤野十志幸 (千歳市立向陽台中学校)
"	山上 昌彦 (室蘭市立知利別小学校)		

## 【 地 区 役 員 名 簿 】

### 札幌地区

会 長 橋本フミエ (札幌市立福移小中学校 校長) 011-791-4212 FAX 011-791-8307  
 事務局長 辻口 徹 (札幌市立簾舞小学校 教頭) 011-596-2852 FAX 011-596-5795

### 網走地区

会 長 関 全 (北見市立光西中学校 校長) 0157-24-7308 FAX 0157-24-7212  
 事務局長 吉田 寛 (斜里町立朝日小学校 教頭) 01522-3-3321 FAX 01522-3-2336

### 石狩地区

会 長 森田 紀宏 (恵庭市立恵み野旭小校長) 0123-37-1760 FAX 0123-37-1761  
 事務局長 中村 一治 (厚田町立聚富小学校 教諭) 0133-66-3171 FAX 0133-66-4389

### 釧路地区

会 長 樋原 永幸 (釧路市立新川学校 校長) 0154-23-2546 FAX 0154-23-2547  
 事務局長 村瀬 正貢 (釧路市立興津小学校 教頭) 0154-91-5302 FAX 0154-91-5303

### 空知地区

会 長 舟崎 征二 (月形町立中和小学校 校長) 0126-53-2199 FAX 0126-53-2487  
 事務局長 石塚 信彦 (岩見沢市立幌向小学校 教諭) 0126-22-2100 FAX 0126-22-5207

### 胆振地区

会 長 木下 昌司 (室蘭市立武揚小学校 校長) 0143-22-1788 FAX 0143-22-1789  
 事務局長 泰地 和幸 (登別市立西陵中学校 教頭) 0143-85-5041 FAX 0143-85-5085

### 渡島地区

会 長 田口 公紀 (長万部町立国縫小学校 校長) 01377-5-2034 FAX 01377-5-2034  
 事務局長 大山真由美 (上磯町立上磯小学校 教諭) 0138-73-2062 FAX 0138-73-1405

### 留萌地区

会 長 斉藤 哲 (羽幌町立幌北小学校 校長) 01646-2-4938 FAX 01646-2-4938  
 事務局長 中村 啓之 (苫前町立力昼小学校 教頭) 01646-6-1504 FAX 01646-6-1504

### 檜山地区

会 長 豊田 収 (大成町立大成中学校 校長) 01398-4-5047 FAX 01398-4-2023  
 事務局長 永洞 純一 (奥尻町奥尻小学校 教諭) 01397-2-2026 FAX 01397-2-2072

### 宗谷地区

会 長 稲崎 進 (浜頓別町立浜頓別小学校 校長) 01634-2-2039 FAX 01634-2-2073  
 事務局長 久保 俊博 (歌登町立歌登中学校 教諭) 01636-8-2544 FAX 01636-8-2549

### 十勝地区

会 長 桑谷 昌芳 (帯広市立啓北小学校 校長) 0155-36-7754 FAX 0155-36-8770  
 事務局長 鎌田 一寿 (大樹町立生花小中学校 教頭) 01558-7-8123 FAX 01558-7-8123

### 後志地区

会 長 須貝 亨 (留寿都町立留寿都中学校校長) 0136-46-3018 FAX 0136-46-2002  
 事務局長 渡辺 常彦 (余市町立東中学校 教頭) 0135-22-3293 FAX 0135-22-7218

### 日高地区

会 長 笹川 幸一 (平取町立平取中学校 校長) 01457-2-2415 FAX 01457-2-2839  
 事務局長 斉藤 順一 (新冠町立太陽小学校 校長) 01464-7-5171 FAX 01456-7-5171

### 小樽地区

会 長 鈴木 久司 (小樽市立銭箱小学校 校長) 0134-62-2004 FAX 0134-62-2022  
 事務局長 岡本 清豪 (小樽市立長橋中学校 教諭) 0134-24-0465 FAX 0134-32-2897

### 函館地区

会 長 小笠原 雅 (函館市立桐花中学校 校長) 0138-41-1332 FAX 0138-41-1316  
 事務局長 石山 史 (函館市立千代ヶ岱小学校 教諭) 0138-51-3061 FAX 0138-51-3031

### 根室地区

会 長 青山 信一 (別海町立別海中学校 校長) 01537-5-8302 FAX 01537-5-8302  
 事務局長 外山 浩司 (標津町立標津小学校 教諭) 01538-2-2085 FAX 01538-2-2085

### 上川・旭川地区

会 長 小川 雅美 (旭川市立聖園中学校 校長) 0166-22-4786 FAX 0166-22-4787  
 事務局長 矢口 元晴 (旭川市立広陵中学校 教諭) 0166-57-7330 FAX 0166-57-7331

在外教育施設より

# 元気なお便りが 届いています

- ・アブダビニュース No.6,7 堀 秀樹先生
- ・ワシントン便り No.1 ワシントン補習授業校 佐野和人校長先生
- ・ミュンヘン No.1,2 ミュンヘン日本人国際学校 森 雅彦先生

・大連からの風 No.44~50 大連日本人学校 工藤信司先生より (一部抜粋)  
児童節

6月1日は中国のこどもの日「児童節」である。この日は幼稚園と小学校が休みになる。面白いのはその他は休みではなく、小さな子どもがいる家庭では、親は普通通り出勤し、子どもだけが家に残るといった日本ではちょっと信じられない状況になる。そのためもあるのかどうか、各地ではたくさんの催し物が行われる。中国の社会教育機関「少年宮 (= 就学前の幼児と小学生が対象)」はこの日大忙しである。先月、大連の人民広場近くにある青少年宮 (中学生が対象の青年宮と少年宮が一緒になったもの)へ見学に行った。ここでは朝から夜まで、様々な講座が開かれている。朝7時から来ているのが小学校入学前の4歳、5歳の子どもたちである。もちろん市内に数え切れないほどの幼稚園はある。しかし、この青少年宮に通わせたいと思っている親が多いとか。選考をパスした子どもだけが入れる、一種のエリート意識なのだろう。文字 (当然のことながら全部漢字!)、英語、数学を学習する。このほかに小学生や中学生が放課後に通う講座がある。書法 (中国習字)、絵画、バイオリン、キーボード、民族楽器、ダンス、武術、等々。なかでも絵画の教室で描かれた作品を見て驚いた。「反对美国霸权主義 (アメリカ覇権主義反对)」、「還我同胞 (私の仲間を返せ)」、「血債血還 (血は血で返せ)」などのスローガンが書かれているポスターだったからだ。描かれている人物はどれも怒った顔をしており、中には星飛雄馬のように、瞳に炎が燃えているものまである。これらを学校でもここでも仕込まれるのだから、愛国心教育が徹底されるわけだ。

5月28日、大連市沙河口区にある沙河口少年宮から日本人学校に、児童節の催し物に参加して欲しいとの依頼が来た。こんな切羽詰まってから急に予定が入ったり、変更になったりというのは、中国ではごく一般的なことである。この依頼をありがたく受け、児童節当日、幼稚園と小学校1・2年生が催し物に参加することにした。当日会場に着いてみると、これがものすごくぼろぼろで、おそらく戦前から使われているだろうと思わせる建物である。文化大革命の時代には、ここで数々の吊し上げがあったことだろう。会場には1000人以上の観客が入り、立錫の余地もない。ここで次々と子どもたちの芸が披露されていく。琴の演奏、木琴の演奏、棒術、剣術、少林寺拳法、踊り、独唱、漫才 (!) までである。それが日本の学習発表会のようなレベルではなく、「これで飯を食っていけるだろう」というぐらいのハイレベルである。

いつも感じることであるが、中国の底力というのは本当にすごいと思う。人口が多いために、落ちこぼれないために子どもたちは必死になる。「もうこなくていいよ」と言われればそれまでなのだ。代わりに人数はいくらでもいるわけで、指導する側からすれば、非常にやりやすい環境のように見える。

最後に日本人学校の子どもたちも舞台上上がった。日本をアピールするために「富士山」と、中国でも有名な「幸せなら手を叩こう」の2曲を歌った。こちらの方はレベル云々という問題ではなく、日中友好を第一としたほのぼのとしたものだった。

## 違う意味

中国語と日本語では、同じ単語でありながら全く意味が違うものがかかりある。それをいくつかご紹介しよう。

勉強 無理強いする 愛人 奥さん・旦那さん (お互いの配偶者をこう呼ぶ) 老婆 奥さん 丈夫 旦那さん

東西 品物 切手 手を切る (けがをする) 麻雀 スズメ 野菜 野草 小心 気をつける

手紙 トイレトペーパー 着用 役に立つ 対象 結婚を前提とした恋人 大家 皆さん 告訴 教える

新聞 テレビニュース 汽車 自動車 一定 必ず 邪魔 妖怪変化 走 歩く 百姓 一般大衆 顔色 色

便宜 値段を安くする 湯 スープ 出口 輸出

この中で一番面白いのは、やはり「勉強 = 無理強いする」であろう。では中国語で日本語の意味の勉強にあたる言葉は何かというと「学習」である。日本語を学んでいる中国人は日本語の「勉強」の意味に、「それはそうだ」と納得していたのが面白かった。

\* ホームページ <http://www.vector.co.jp/authors/VA001148>

(ホームページは既に20000件近いアクセスがあります)

\* 個別のアドレスをお知りになりたい方は、事務局(kokusai@hokkaido.777.ac)までご連絡ください。

# 第20回北海道国際理解教育研究大会北見大会

第9回全国海外子女教育・国際理解教育研究大会北海道ブロック大会  
第12回網走管内国際理解教育研究大会北見大会

## こ 案 内

日時 平成11年9月17日(金), 18日(土)  
場所 北見くるみ幼稚園  
北見市立三輪小学校  
北見市立光西中学校  
北見藤女子高等学校

	授業会場
北見芸術文化ホール	全体会場



## 公開授業紹介

### 【くるみ幼稚園】

#### 『英語で遊ぼう』

- ・教諭 丸山 あゆみ ・講師 Andy Noonan
- ・教諭 畠山 秀子 ・講師 Yota Suzuki

~英会話保育を通して,日本語とは違う言葉で遊ぶ楽しさを味わいながら,他国への理解の心やコミュニケーション能力育成の基盤を作る。

### 【北見市立三輪小学校】

#### 『4年社会』~「くらしの広がり~外国とのつながり」

・教諭 宮崎 浩

~大学研究生(中国人)を講師に招き,中国の様子や日本に対する考え等を子供たちと交流し合い,私たちの身近なくらしが,外国と深く関わっていることを知り,異文化への理解や共感を深める。

#### 『特別活動』~「HELLO, ENGLISH!」

・教諭 田中 章子

~北見市のALTを招いて,英語に親しみながら,ゲームを通して視野を広げ,コミュニケーション能力を高めて,地球市民としての意識を培う。

【北見市立光西中学校】

『2年英語』～「日本語と英語の違いについて」

・教諭 高倉 公司

～英語のリズムや楽しさを味わうことにより，主体的にコミュニカティブな活動ができる能力を育てたい。また，英語と日本語の言語を比較し，その文化的背景まで考察させたい。

『2年数学』～「一次関数」

・教諭 小畑 浄一

～ライブニッツがつくり出したといわれている関数の歴史的側面を視野に入れ，人間教育としての数学教育という視点に立って，「楽しくわかる授業」を通して学びの意欲を喚起し，生徒の自己の確立を図る。

『1年美術』～「いろいろな国のイメージキャラクターをデザインしよう」

・教諭 高瀬 志恵

～各国のイメージを作品として表現し，それについて互いに発表し，鑑賞し合う活動を通して，他国の文化に興味・関心を深める契機とする。

【北見藤女子高等学校】

『英語』～「Our Personal Habits Can Change The World!」

(1・2年合同)

・教諭 Luis Hernandez

・助教授 John Ogle

～生徒自身が毎日行っている習慣が，地球の環境へ大きく影響していることを考えさせ，日常習慣が地球規模の問題として発展していることへの認識を深める。

講演

『異文化の理解～インドと日本』

アニル・パンガンティー氏

ミントの香りたடよう北見の街で，皆様のご参加をお待ちしています。私たちは，参加して下さいます皆さんにとって有意義な大会となるよう努力しているところです。多くの方々のご参加をお願いいたします。

第2次案内は，7月初旬の発送を予定しております。参加申込書・宿泊申込書を同封致しますので，宜しくお願いいたします。

<問い合わせ先> 北見大会実行委員会事務局

斜里町立朝日小学校 教頭 吉田 寛

TEL 01522-3-3321

FAX 01522-3-2336

二宮 皓 編著 「世界の学校」 = 比較教育文化論の視点に立って =  
福村出版 2800円



18人のスペシャリストが、世界各国の教育制度について論じたものを「比較教育文化論」の視点から整理して、教育制度確立の経緯と今日の問題点、今後の教育改革の方向をまとめたものです。

人類初の学校は、紀元前5000年以上もの前に、シュメール国家にあった「粘土板の家」に見ることができます。生徒は、国家の穀倉を管理する将来のエリート役人候補生であり、楔形文字を使っていました。それが、古代ギリシャになって、閑暇の家(スコレ)と呼ばれ、教養を楽しむ場となっていきました。

以来続いてきた各国の学校教育を教育課程や生徒指導体制の観点から比較分析すると、つぎの三類型に分類できるといいます。

### 世界の学校三類型

教育課程が教科課程中心 = ドイツ, フランス, デンマーク, オランダ

教科課程を基本に, 生徒指導的ケア = は, 学校が責任をとらない

= 旧ソ連ピオネール宮殿, 中国の少年宮

教科課程以外の課外活動・特別活動などの教育課程を実施したり, 生徒指導的ケア = をしたりする = イギリス, 合衆国, 日本

これらの分類を基に, 国別に, 「学校の現状紹介」「学校教育の特色と課題」「学校制度改革の動向」を述べています。本書に取り上げている国は, ドイツ, フランス, エクアドル, ブラジル, ロシア, 中国, イギリス, オーストラリア, アメリカ合衆国, シンガポール, タイ, インドネシア, インド, 韓国, 日本と, 15カ国に及んでいます。

さらに, 最終章第16章では, 「学校の比較教育学 - 比較教育文化論」を述べています。多岐にわたる論説から, その一部を次に紹介します。

### 比較教育学研究の目的とは何か?

< 個性記述的目的 >

- ・ 比較的アプローチを通じて, 他国および自国の教育を深く理解すること。

< 法則発見的目的 >

- ・ 比較的研究から世界の教育の動向や傾向を解明したり, パターンを認識したりすることによって教育事象を説明すること。

### 学校の「時間」文化の比較 - 学校の始期 (学年度の開始時期)

歴史的あるいは気候風土的事情から学校の始期の文化(慣行)ができあがり, 文化として定着し, それに合わせた学校歳時記が記録されてきました。

- ・ 一月 - - シンガポール, スリランカ, ウガンダ, ボツワナ
- ・ 二月 - - トンガ, ネパール, ニカラグア, ボリビア
- ・ 三月 - - 韓国, コスタリカ
- ・ 四月 - - 日本, パナマ
- ・ 五月 - - エクアドル
- ・ 六月 - - ミャンマー, フィリピン
- ・ 七月 - - インド, インドネシア
- ・ 八月 - - ドイツ, 台湾, ベリーズ
- ・ 九月 - - 欧州諸国, メキシコ, イラン, アルジェリア
- ・ 十月 - - アラブ首長国連邦, ハイチ, ガーナ
- ・ 十一月 - - ソマリア